

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年9月29日

事業所番号	2775300532	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	医療法人 仁済会		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	医療法人仁済会グループホーム高石	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	大阪府高石市高師浜3丁目3番31号 (電話)072-263-5706	評価調査日	平成 20 年 9 月 19 日
		評価確定日	平成 20 年 10 月 5 日

【情報提供票より】 (平成20年8月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9 人
職員数	9人 常勤 7人 非常勤 2人 常勤換算 6.5人		

(2) 建物概要

建物の構造	鉄筋コンクリート造り 5階建ての 5階部分
-------	--------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42,000円 その他の経費 (月額 20,000円)			
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 150,000円 償却有 3年			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり		42,000円	

(4) 利用者の概要 (8月14日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	0名		
要介護3	8名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	89才	最低	73才	最高	101才

(5) 協力医療機関


協力医療機関名	綾園歯科 高石病院(内科・リハビリテーション科)
---------	-----------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

開設後4年目となり、職員の温かで適切な介護に、利用者のご家族は安心しておられる。職員のチームワークによって利用者の一人ひとりの、生活歴を始めとする介護に必要な個人情報の把握に努めて来たことが、日常の介護に役立っている。又、同じ建物内の高石病院の医師、看護師を始めとする職員のバックアップを得て、介護が進められているのもこのホームの特色である

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	運営推進会議での話し合いにより、校区福祉委員長さんの適切なご指導を頂き、地域の方々との交流がより良く進められている。例えばボランティアの紹介受け入れ、地域クラブへの参加などが行われた。利用者の介護の基本情報の把握が日々重ねられ、介護計画作成の基本となっている。又、職員の熱心な研修意欲もあり、適切に研修が実施されている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者と計画作成者による下書きに従い、職員との反省と改善についての話し合いの上で、自己評価票が作成された
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議が3ヶ月毎に開催され、毎回、熱心な意見交換が行われている。又、地域包括センターの職員による情報開示により、毎回、参考となる情報を利用させてもらっている。特に校区福祉委員長さんの熱心なお世話を頂き、今まで出来ていなかった諸行事への参加が可能となっており、ホームは感謝している
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族アンケートの集計結果でも、殆どの方が感謝しておられる。ご家族来訪時には職員が付き添い、利用者の症状等について詳細に亘り説明を行っている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	管理者は特に地域の方々との交流を重視している、昨年来、福祉委員長さんのご尽力によって地域の会合への出席や行事への参加が増え、ボランティアの受け入れ等を行って、交流促進を進めている

（ 部分は重点項目です）

 取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念とは別にホームとしての理念「1・その人らしく生き甲斐のある暮らしのお手伝い」「2・生活のパートナーとして、互いに支えあえるホーム作り」を掲げ毎朝職員で唱和確認している		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝ホームの理念に沿った実践であるように確かめている		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	高石校区福祉委員会を始め自治会、ボランティア、地域クラブにも参加して交流が行われている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、計画作成者を中心として評価の意義を理解し、介護のレベルアップへの改善を図っている		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は3ヶ月毎に開催されている。校区福祉委員会委員長の熱心なご指導により、ホームと地域の各組織との交流が出来つつある	○	運営推進会議により、地域交流が昨年から進められているが、今年度も充実するよう努めてください。保育園、幼稚園、小学校、中学校のうち、何れかの交流を検討してください
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に市役所担当課を訪問し、利用者の状況の報告や、相談が出来ている。担当部署から情報をいただき、地域の会合等に参加が出来ている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族が、主として支払いに来所された時に、利用者の最近の症状等の詳細報告をしている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来所された際、職員が付き添ってご意見やご不満がないか伺っている。運営推進会議でもご家族代表のご意見、ご不満があればお聞きして対処している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	職員の内外の研修は運営者の指導のもとでよく出来ている。更に、個人別の研修実績の把握を行って、全体のレベルが揃うよう配慮して欲しい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		職員が本人に常に付き添い、不安のないよう安心して暮らせるようにしている。本人、ご家族からは本人の生活暦を聞き出し、介護支援の基本の一つとしている
--	----	----	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		職員は利用者一人ひとりの情報を全員のチーム力で共有を図っており、毎日、利用者と一緒に生活で喜怒哀楽を共に過ごしている
--	----	----	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		職員のチーム力で、生活暦も含めた情報の把握を進めており、本人の希望や、思いに添った生活をしていただけるよう努めている
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		ホーム開設以来、引き続き利用者の生活暦を含めた情報の蓄積を、職員のチーム力で行って来ている。この情報を基本として介護計画作成に活かしている
--	----	----	---	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	日々のケアから症状の変化が見られた場合、より良い生活を送っていただくために、綿密な支援計画の変更を、家族も含めた関係者で相談して行っている		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望や状況による要望に、事業所の機能の範囲内で、適宜、支援を行っている		
----	----	---	--	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	母体である同じ建物内の病院医師による定期診察を受けてもらっている。希望される場合は、他の医師への受診の支援も行っている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合には早期の段階から、本人、家族の方々との話し合いを行っている		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員に対して、言葉掛けには十分配慮するよう日頃から注意を行っている。又、情報管理についても慎重に行っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	仕事の流れを中心とすることのないよう、気付きと配慮の支援をしている		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを食材業者に伝え連携を図っている、月1回は利用者と共に、メニューから食事作りをして楽しんで頂いている		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴は、希望に合わせて行っており、利用者によっては民謡などの音楽を掛けながら、入浴している方もある

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		一人ひとりの好み、希望にあわせた楽しみで過ごしてもらっている。例えば、1階・屋外部スペースにあるプランターへの水遣りなども、当番でしてもらっている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		個々に、その日に希望を聞き、行きたいところがあれば、一緒に出掛けている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		施設は5階建ての5階にあり、出入りは原則的にエレベーターとなっている。エレベーターは階下の各階へ通じているので安全上、待機場所はキー操作となっている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		病院も含めた安全委員会により職員は、周知徹底の訓練を受けている。又、年2回、消防署員による避難訓練を受けている

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		毎日のカロリーは計量されており、水分と共に摂取量は把握している。月1回の測定で体重もチェックされている
--	----	----	---	--	---

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用空間は近代的な雰囲気でも明るく、落ち着いた雰囲気でも過ごせるように工夫している。又、適宜、場面に応じて音楽を流している
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		各個室は、銘々が使い慣れた家具、道具類を持ち込んで、楽しんでいる